

～ にいがたし元気力アップ・サポーター制度 ～

転換交付金のアンケート調査 集計結果

1. 調査概要

(1) 調査目的

平成25年10月より全市で開始した「にいがたし元気力アップ・サポーター制度」に関する意見等を把握し、今後の制度運営への基礎資料とするもの。

(2) 調査対象及び対象数

【対象】

令和7年2月末時点でサポーター登録している者

【対象数】

2,701名

(3) 調査期間及び方法

【期間】

令和7年3月下旬から令和7年5月末日まで

【方法】

令和7年3月に翌年度の活動手帳等と一緒に郵送でアンケート用紙を配布し、転換交付金申請書の提出時に各区社協の窓口で回収

(4) 回答結果

回答者数： 338名 （回答率： 12.5 %）

（参考：転換交付金申請書提出者 387名）

※構成比(割合)の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

2. 集計結果

問1. サポート活動をしている期間を教えてください。 ※ひとつを回答

項 目	回答数	割合
① 5年以上前から	155	45.9%
② 3年～5年くらい	49	14.5%
③ 1年～3年くらい	80	23.7%
④ 1年未満	51	15.1%
⑤ まだサポート活動は行っていない	0	0%
⑥ 未回答	3	0.9%

活動の期間は、約半数が、「5年以上前から活動している」と回答。次いで「1年～3年くらい」と回答した方が多く、コロナ禍以後にサポーターになり、活動を始めた方と思われる。

問2. サポート活動を行っている頻度を教えてください。 ※ひとつを回答

項 目	回答数	割合
① 週に複数回	55	16.3%
② 週に1回程度	103	30.5%
③ 2週に1回程度	53	15.7%
④ 月に1回程度	73	21.6%
⑤ その他	52	15.4%
⑥ 未回答	2	0.6%

活動の頻度は週に1回以上という回答が約半数であり、定期的な活動をしている方と考えられる。また、イベント時に活動に訪れるケースも一定数回答があり、施設との関係性が構築されていると思われる。

問3. サポート活動の実施内容を教えてください。 ※複数回答

項 目	回答数	割合
① レクリエーション指導、参加支援	6 6	1 9. 5 %
② お茶だし、配膳・下膳の補助	4 8	1 4. 2 %
③ 喫茶などの運営補助	1	0. 3 %
④ 散歩、退出、館内移動の補助	1 2	3. 6 %
⑤ 模擬店、芸能披露など行事手伝い	5 5	1 6. 3 %
⑥ 入所者、利用者の話し相手	8 1	2 4. 0 %
⑦ その他職員と共に行う補助的活動	1 7 6	5 2. 1 %

話し相手、芸能披露、レクリエーション指導など多岐にわたる内容でサポート活動が実施されている。また、⑦を選択した方のうち、図書館で書架整理を行っているサポーターが多く見受けられた。

問4. 本制度を利用して、サポート活動を始める前と現在では、健康面・精神面・日常生活に変化はありましたか。 ※複数回答

項 目	回答数	割合
① 生活に張り合いが出た	1 8 0	5 3. 3 %
② 健康につながっている	1 5 2	4 5. 0 %
③ ポイントが励みになっている	9 7	2 8. 7 %
④ ボランティア活動の回数が増えた	6 6	1 9. 5 %
⑤ 外出の機会が増えた	1 3 5	3 9. 9 %
⑥ 人との交流が増えた	2 0 2	5 9. 8 %
⑦ 特に変化はない	1 8	5. 3 %
⑧ その他	1 6	4. 7 %

(皆様からのご意見)

- ・ポイントの対象でない施設にもボランティアに行っている。
- ・ボランティアで友だちができ、活動の励みになっている。
- ・家にいるとテレビが友だちですが、体を動かす作業で運動になりよいです。
- ・社会貢献活動と思って続けています。
- ・とても楽しく活動しています。
- ・適度に緊張感をもって活動ができています。

外出の機会が増えた、人との交流が増えたという回答が多く、この活動を通じて、社会参加の機会が創出されていることが伺える。また、健康面、精神面にプラスの影響があったとの回答も多くみられた。

問5. 転換交付金は、現行では寄付を除き“現金のみ”の交付としていますが、どのような交付方法を希望しますか。 ※複数回答

項 目	回答	割合
① 今まで通りの現金(振込)	288	85. 2%
② 新潟市共通商品券	24	7. 1%
③ りゅうと乗車ポイント	17	5. 0%
④ Paypay などの電子マネー	16	4. 7%
⑤ その他	11	3. 3%

交付方法は、8 割以上の方が「今まで通りの現金（振込）」という回答であった。
電子マネーを希望する方は僅かであった。

問6. 「元気力アップ・サポーター制度」の評価を教えてください。 ※各ひとつを回答

項 目	回答数	平均値
① 制度について	305	4. 3
② 説明会について	277	3. 9
③ 受入協力機関について	285	3. 9
④ ポイント制度について	297	4. 2
⑤ 交付金について	278	4. 0

各項目とも平均 3.9～4.3 と概ね良い評価との回答であった。

問7. スマートフォンを利用していますか。 ※ひとつを回答

項 目	回答数	割合
① 利用している	262	77. 5%
② 利用していない	54	16. 0%
③ 回答なし	22	6. 5%

スマートフォンの利用状況については、ほぼ普及率並という回答結果であり、
利用していない方のほとんどは、今後も利用する予定がないということ
が分かった。

元気力アップ・サポーター制度についての意見・感想 （一部掲載）

（皆様からのご意見）

- ・ネーミングのとおり元気の出るよい制度だと思います。
- ・もう少しポイントの上限を上げてほしい。
- ・学童保育ひまわりクラブでの絵本読み聞かせも対象としてもらいたい。
- ・毎年同じ受入協力機関にお世話になっているので、職員や利用者さんとも打ち解けて楽しく行っています。
- ・体の都合のよいときに参加でき、相手方利用者にとっても喜ばれている
- ・母がお世話になった老人施設で 20 年近く週 1 回、感謝の気持ちで、往復バスで楽しく出かけております。この制度(スタンプ)ちょっと励みになっているかと思います。
- ・高齢者ですが、本を手にとって次に読む本を探したり、配架の手伝いをしたり、週 1 回の自分の楽しい 1 日となっています。体の続く限りお世話になりたいです。
- ・とてもモチベーションになっている。
- ・メインは自分自身のためでしたが、皆さんに感謝されて嬉しくなりました。
- ・印をいただくのが面倒なこともあります。印が貯まるのが楽しみ。年間の活動状況も分かりやすく、いいと思う。
- ・交付金を寄附に！毎日のように活動して、健康をいただいています。
※活動手帳は、ぜひ発行していただきたいです。
- ・利用している私たちが口コミで広げていけるように仕向けていってください。
- ・アプリに移行しても、紙の手帳は残してください。アプリ利用は難しい。
- ・受入協力機関をもっと増やしてほしい。
- ・高齢者を外出させる考えた策だと思います。元気のもとにしたいです。
- ・説明会でプライバシーに配慮せよと言われたが、結果的にどのような行為を指すのかについて、担当者の回答は不十分なものだったと思える。
- ・ポイント制度は、目に見えて励みになります。また、交流会への参加も皆さんの笑顔と活力に触れて、元気をもらえます。
- ・職員の方によって、気分を害するときがあります。
- ・親しい利用者さんに手助けをすると、厳しく注意されます。
- ・1 ポイント ¥100 は少ない。
- ・スタンプ押印＝自分が活動している証拠になります。交付金＝今までいただかなかったのですが、今回、交通費にと思っています。
- ・たとえいくらでも、もらえると励みになります。😊
- ・ポイント数によって、今年度はこれだけやれたと改めて確認し、翌年度も活動するために自身の健康に留意したいと思う。
- ・最近体の調子が悪いのですが、直ったらまた活動して頑張りたいです。

アンケートにご協力いただきまして

ありがとうございました。